

平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立城山中央小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成31年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語 34人

② 算数 34人

5 留意事項

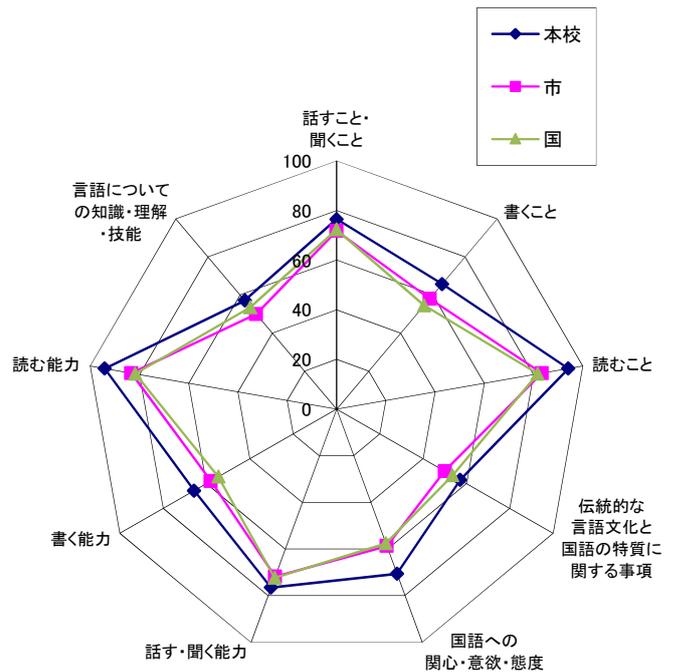
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立城山中央小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	76.5	71.8	72.3
	書くこと	65.7	58.0	54.5
	読むこと	94.1	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.1	50.0	53.5
観点	国語への関心・意欲・態度	70.6	58.7	57.6
	話す・聞く能力	76.5	71.8	72.3
	書く能力	65.7	58.0	54.5
	読む能力	94.1	83.3	81.7
	言語についての知識・理解・技能	57.1	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

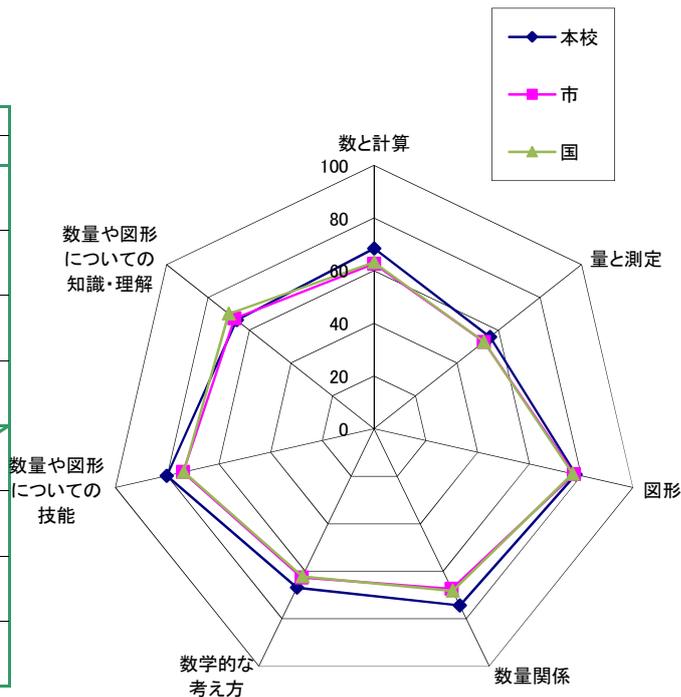
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○市の平均正答率を4.7ポイント上回っている。特に話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問を選ぶ問題では、9.1ポイント市の平均正答率を上回っている。 ●目的に応じて、質問を工夫する問題では、インタビューする人の工夫を読み取ることが市の平均正答率を13.9ポイント下回っている。	・前に人の発言を受けて、言葉や文を取り上げて、インタビューにふさわしい言葉遣いで話すことができるように、授業中の時を逃さず、指導していく。 ・インタビューでは、どのような工夫があるのか、話し合い活動を通して、具体的に捉えられるようにし、体系的に理解できるように指導の工夫をしていく。
書くこと	○市の平均正答率を10.2ポイント上回っている。図表やグラフなどを用いた目的を捉えることや、情報を相手に分かりやすく伝えるための記入の仕方の工夫を捉えることができている。 ●目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にし、まとめて書く問題では、正答率が35.3%で、市平均正答率を上回っているものの低調である。	・複数の条件に合った、目的や意図に応じた短作文指導を計画的に行い、習熟を図っていく。また、文章を書く際に、意見や理由を区別して書く練習をしたり、つなぐことばを使って、効果的な文章が書けるように取り立てて指導していく。
読むこと	○市の平均正答率を10.8ポイント上回っている。目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読むことや、目的に応じて本や文章を概観して効果的に読むことでは、91%を超えている。 ●読み取ったことを条件に応じて、書いて表現することに個人差が見られる。	・読み取ったことを、教材文の言葉、文を根拠に、書くことを取り入れ、さらに読解力を育てていく。 ・授業で、読みの交流を取り入れ、読み深めができるようにしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○市の平均正答率を7.1ポイント上回っている。 ●同音異義語については、文章の意に合った漢字を適切に選び、正しく書くことができないものもあり、正答率が20.6%であった。	・新出漢字の練習や復習に取り組みせるとともに、同音異義語や対義語などを意図的に取り上げ、文中での使い方を意識させながら、習熟をさらに図っていく。

宇都宮市立城山中央小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	68.5	62.7	63.2
	量と測定	55.9	52.9	52.9
	図形	77.9	77.3	76.7
	数量関係	74.4	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	66.9	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	80.1	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	66.2	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○領域の平均正答率は68.5%で、市平均よりも5.8ポイント高い。</p> <p>○示された減法に関して、成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用する設問では、正答率が市平均より10ポイント以上高い。</p> <p>●示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する設問では、正答率が29.4%で、市平均よりも4.5ポイント低い。</p>	<p>・整数や小数、分数の計算、四則混合の計算など様々な問題に繰り返し取り組むことにより、さらなる定着を図っていく。特に、減法や除法について苦手意識を持っている児童が多いので、定期的に復習する機会を意図的に設定し、速く正確に問題が解けるようにしていく。</p>
量と測定	<p>○領域の平均正答率は55.9%で、市平均よりも3ポイント高い。</p> <p>○場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する設問では、正答率が76.5%で、市平均より14.1ポイント高い。</p> <p>●示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する設問では、正答率が35.3%で、県平均よりも7.6ポイント低い。</p>	<p>・補充プリントや計算ドリルを活用し、さらに習熟を図っていく。また、面積や体積を求める学習では、様々な解き方を考えさせ、ペアで紹介したり、全体で共有したりする場面を設け、なぜそのような考えができるのかを具体的に説明させることで、筋道を立てて考えたり説明したりできるようにしていく。</p>
図形	<p>○領域の平均正答率は77.9%で、市平均よりもやや高い。</p> <p>○合同な台形を選ぶ設問では、正答率が90%を超えており、よく理解できている。</p>	<p>・領域における正答率が高いことから、おおむね理解できていると思われる。補充プリントや計算ドリル等でさらなる定着を図ったり、より発展的な内容のものに取り組ませたりすることで、さらに理解を深めていく。</p>
数量関係	<p>○領域の平均正答率は74.4%で、市平均よりも7ポイント高い。</p> <p>○加法と乗法の混合した整数と小数の計算では、正答率が76.5%で、市平均よりも16.2ポイント高い。</p> <p>●示された除法の式の意味を問う設問では、市平均と大きな差は見られないが、正答率が41.2%と低い。</p>	<p>・領域における正答率が高いことから、おおむね理解できていると思われる。今後も補充プリントや計算ドリル等で習熟を図っていく。また、関連している学習内容(割合や速さ、グラフの読み取り等)が出てきた際には、意図的に振り返らせ、他教科や生活場面で活用できるようにしていく。</p>

宇都宮市立城山中央小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」では、肯定的回答割合が、97.1%となっており、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答割合は94.3%で、市の平均を上回っている。さらに、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」、「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」においては、どちらも市の平均よりも5ポイント以上高いことから、様々な活動に意欲的に、かつ協力し合っ

て取り組むことで、達成感や充実感を味わえていると考えられる。

○読書への関心が高く、「読書は好きですか」の肯定的回答割合は、95%を超えている。今後も、読書リレーや家読、朝の読書等の充実を図ったり、学校図書館を有効利用したりすることで、さらに読書への関心や質を高めていきたい。

○国語や算数の学習に関する設問では、ほとんどの設問で市の平均を上回っている。多くの児童が学習する大切さや分かることの楽しさ等を理解していると思われる。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の肯定的回答割合については、約90%であり、自分の生活スタイルや理解度に応じた学習ができつつあると考えられる。今後も、分かる授業を実践したり、工夫しながら自主学習に取り組ませたりすることで、さらなる向上を図りたい。

●「新聞を読んでいますか」においては、肯定的回答割合が約15%で、市の平均よりもやや低い。インターネットでニュースを見ていることも考えられるが、学校図書館の新聞コーナーを紹介したり、国語や社会の学習等で新聞を活用したりすることにより、新聞ならではのよさを味わわせたり、文字に触れる機会を増やしたりしていく。

●全体的に国語や算数の学習への関心が高い児童が多いが、自分で考え自分で取り組む課題解決型の学習や自分の考えを発表する学習、互いの意見を出し合っ解決方法を決めていく学習等においては、「やや苦手である」と答えている児童が数名見られる。ペアや少人数グループで意見を交換し合ったり、机間指導で個別に声を掛けたりしながら学習を進めることで、自信を持って学習に取り組めるようにしていきたい。

宇都宮市立城山中央小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・学習のまとめと振り返りの活動の工夫	・学習のまとめと振り返りの仕方について、職員で共通理解を図り、学習に応じたまとめと振り返りを行う。	・学習のまとめと授業後の振り返りの活動について習慣化が図られてきた。今後、さらに学習効果を高められるよう、学習のねらいに沿った振り返りができるようにしたい。また、自分の考えを伝えることができるよう、まとめたことや振り返りを書いたり伝え合ったりする時間を十分とり、充実していく。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・読解力、国語辞典の使い方、ことわざや慣用句を正しく使うことに課題が見られた。	語彙力を高める指導の工夫	・辞書の引き方についての理解を深め、辞書引きを通して、物語や説明文の内容理解を深められるようにするとともに、ことわざや慣用句など、様々な言葉に触れる機会をつくっていくなどし、語彙力を高める。